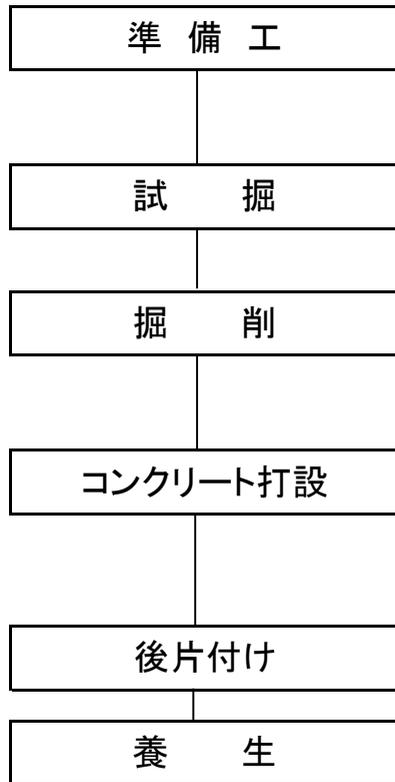


コンクリートシール工の作業手順



内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	指示書の内容確認 安全ミーティング日報による 作業別安全チェックシートの活用。
施工箇所に埋設ケーブルが有るか、無いか、図面にて確認し有る場合は、 施工前に試掘を行う。この時、関係部署の立ち会いを受けること。	埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、関係 部署の立ち会いを受ける。
トレーラーで搬入した重機を卸し、重機にて施工箇所の掘削を行う。ガードレ ール等を取り外し、重機を搬入し10cm掘削する。掘削後は、スコップ、ジョレ ンを使い均一にならず。また掘削後の土は、ダンプにて所定の場所へ搬出 する。この時、車輛誘導を確実に進行。また掘削した後の掘削床は、 プレートコンパクターを使用し転圧を行う。	有資格者による機械作業を行う。 重機、ダンプの誘導を確実に進行。 ダンプへの過積載に十分注意をする。
施行箇所の掘削が終了したら、10mピッチにエラストイトを設置し、厚さ10 cmでコンクリートを打設します。この時、バイブレーターをしっかりと掛けること。 コンクリートは、C2-1を使用し仕上げは、ほうき仕上げをする。	ミキサー車等の誘導を確実に進行。 コンクリートは、工場出荷時間より1.5時間以上経過 した物は、使用してはならない。 バイブレーターでの生コンの移動、流しは、行わない。
使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に 竹ぼうきなどで清掃する。	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように 確認する。 はつきりかす、合材かすが無い様に、綺麗に清掃する。
型枠を入れた場合は、7日以上経ってから脱型する。また冬期の施工の 場合は、シート等の養生処置を行う。	養生シートを使用する場合は、風等による飛散を防止 する。
終礼の実施	安全ミーティング日報による

注意事項 機械作業は、有資格者が必ず行う。
 車輛の誘導を確実に進行。
 作業に合った保護具を使用する。
 立ち入り防止柵内に立ち入る際は既設門扉の使用または開口部を設けるか適切な昇降設備を使用する。
 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。
 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。